第３次奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画

令和6年度　実施計画

協働事業

No.	1	事業名	奈良市子ども会議の開催
部名	子ども未来部	課名	子ども政策課

総合計画上の位置付け			
	章	第１章	
	施策	１－２	子育て環境の充実
	施策の方向性	①子どもの心豊かな育ちの支援	

相手方の名称	市民（原則10～17歳の子ども）	協働事業の実施手法	事業協力	
実施の時期	通年	事業開始年度	平成27年度	
令和６年度事業費	当初予算額 777	決算(見込)額		（単位：千円）

事業の概要・目的	「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」は、子どもたちが今を幸せに生きることができ、将来に夢と希望をもって成長していけるように、子ども参加によって大人とともにまちづくりを進めることを目的とする。そのためこの条例で規定している子どもが意見表明をし、参加する場として「奈良市子ども会議」を開催する。

目標指標	指標名	奈良市子ども会議参加者の意見表明に対する満足度						
	単位	%	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	100	100	100	100	100
			実績値	97.9	99			

令和６年度実施計画	令和５年度の子ども会議の参加者アンケートの内容及び令和５年度に市内在住の６～18歳を対象に実施した「子どもの権利に関するアンケート」の結果から、本市では相談窓口の周知・啓発や子どもがだれでも気軽に集える場について、検討を行っているところである。 そこで、令和６年度奈良市子ども会議では、「子どもにやさしいまち」について考え、子どもが相談しやすい環境や安心して過ごせる場所について、子どもたちから意見を聴取し、本市の子どもにやさしいまちづくりの推進に活かしていく。

協働事業

No.	2	事業名	青少年野外体験施設の運営管理
部名	教育部	課名	地域教育課

総合計画上の位置付け			
	章	第１章	ひとづくり（子育て、教育、人権、男女共同）
	施策	１－２	子育て環境の充実
	施策の方向性	②子どもの健全育成の推進	

相手方の名称	①奈良市黒髪山キャンプフィールド運営協議会 ②特定非営利活動法人 奈良地域の学び推進機構	協働事業の実施手法	指定管理		
実施の時期	通年	事業開始年度	①平成18年度（指定管理者制度導入年度） ②平成21年度（指定管理者制度導入年度）		
令和６年度事業費	当初予算額	37,270	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	自然環境の中での野外活動、レクリエーション等を通じて青少年の心身の健全な育成を図ることを目指す。				

目標指標	指標名	利用者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	6,200	7,700	9,200	10,700	12,200
			実績値	8,427	9,626			

令和６年度実施計画	指定管理者と協議・連携し、快適な施設と魅力的な事業の提供に努めるとともに、広報の在り方について創意工夫し、利用者数の増加を目指す。また、より多くの市民が活用できる施設にするために、施設の在り方について検討していく。

協働事業

No.	3	事業名	児童館運営事業		
部名	子ども未来部			課名	子ども育成課

総合計画上の位置付け			
	章	第１章	ひとづくり（子育て、教育、人権、男女共同）
	施策	１－２	子育て環境の充実
	施策の方向性	②子どもの健全育成の推進	

相手方の名称	公益財団法人奈良市生涯学習財団		協働事業の実施手法	指定管理	
実施の時期	随時		事業開始年度	令和２年度（指定管理者制度導入年度）	
令和６年度事業費	当初予算額	113,640	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	子どもと長期的・継続的に関わり、遊びを通して子どもの発達を図る。また、地域の中での子どもの居場所、遊びの拠点となることを目指し、安定した日常生活を支援するとともに、子育て家庭に対する相談・援助を行い、地域における子育てを支援する。また、子育て支援の拠点として、乳幼児とその保護者に対して遊びや交流の場、様々な情報の提供を行い、安心して子育て・子育ちができる環境を整備し、子育て支援機能の充実を図る。				

目標指標	指標名	児童館（４館）の利用者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	18,700	19,500	20,200	21,100	22,000
			実績値	22,252	26,169			

令和６年度実施計画	地域の中での子どもの居場所、遊びの拠点として各種事業を実施するとともに、子どもの安定した日常生活を支援する。あわせて、就学前の児童と保護者の交流、子育てについての相談、情報提供や講座等を行う地域子育て支援拠点事業を大宮児童館を除く３館で実施する。

協働事業

No.	4	事業名	フードバンク事業
部名	子ども未来部	課名	子ども育成課

総合計画上の位置付け			
	章	第１章	ひとづくり（子育て、教育、人権、男女共同）
	施策	１－２	子育て環境の充実
	施策の方向性	②子どもの健全育成の推進	

相手方の名称	特定非営利活動法人フードバンク奈良	協働事業の実施手法	委託	
実施の時期	随時	事業開始年度	令和２年度	
令和６年度事業費	当初予算額 88,354	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	食料品等の価格高騰の影響が長期化する中で、ひとり親家庭等経済的に影響が大きい世帯に対し、子どもの食の支援を行う。学校の長期休みの時期にフードパントリー形式で食品を提供する通常の事業に加えて、困窮している子育て世帯に支援を届ける目的で、２か月に１回（10kg）、米の宅配を実施する。ふるさと納税の仕組みを活用して寄附金を募り、米の購入費、配布費用等に充てる。			

目標指標								
	指標名	食品配布者へのアンケートから、「食品配布の量に大変満足してる又は満足している」と答えた割合						
	単位	%	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	75	78	80	83	85
			実績値	85	91			

令和６年度実施計画	食料品等の価格高騰の影響が長期化する中で、ひとり親家庭等経済的に影響が大きい世帯に対し、子どもの食の支援を行う。学校の長期休みの時期にフードパントリー形式で食品を提供する通常の事業に加えて、困窮している子育て世帯に支援を届ける目的で、２か月に１回（10kg）、米の宅配を実施する。ふるさと納税の仕組みを活用して寄附金を募り、米の購入費、配布費用等に充てる。 また、新たにフードロス対策コーディネーターを配置し、食品事業者や農家等において消費されずに破棄される食品を、必要とされている家庭に無償で提供する仕組みを構築する。

協働事業

No.	5	事業名	子育て親子の集える場の提供
部名	子ども未来部	課名	子ども育成課

総合計画上の位置付け			
	章	第１章	ひとづくり（子育て、教育、人権、男女共同）
	施策	１－２	子育て環境の充実
	施策の方向性	③子育てにやさしい地域づくりの推進	

相手方の名称	子育て支援団体(社会福祉法人、NPO法人等) 地区民生児童委員協議会・地区社会福祉協議会等	協働事業の実施手法	委託	
実施の時期	通年または月１・２回	事業開始年度	平成５年度	
令和６年度事業費	当初予算額 157,814	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	子育て親子（おおむね０～３歳児とその親）を対象に、交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談及び援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育て及び子育て支援に関する講習等の多様な子育て支援活動を実施する。			

目標指標	指標名	子育て中の親子の集える場の延べ利用者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	101,500	103,400	105,400	107,400	109,400
			実績値	93,774	117,839			

令和６年度実施計画	広場内での講習や情報提供に加え、プレママ・プレパパ向け講座やSNS等での情報発信、訪問型の支援等、広場に足を運ぶことができない方に対する支援や、利用者と地域子育て支援拠点、さらに地域をつなぐ取り組みを行う。

協働事業

No.	6	事業名	子育て支援アドバイザー
部名	子ども未来部	課名	子ども育成課

総合計画上の位置付け			
	章	第１章	ひとづくり（子育て、教育、人権、男女共同）
	施策	１－２	子育て環境の充実
	施策の方向性	③子育てにやさしい地域づくりの推進	

相手方の名称	個人ボランティア及び子育て支援団体	協働事業の実施手法	委託		
実施の時期	随時	事業開始年度	平成18年度		
令和６年度事業費	当初予算額	1,000	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	地域の子育て経験豊かな市民を「子育て支援アドバイザー」として登録し、子育て親子が集まる場所に派遣し、子育てに関する相談、助言、情報提供を行い、親の育児の負担感や不安感を軽減する。また、絵本の読み聞かせ、手遊び、親子体操等、子育て支援アドバイザーができる範囲で支援を行う。 なお、事務の効率化及び事業内容の充実を図るため、子育て支援の経験豊富なスタッフが在籍する地域子育て支援拠点事業の実施団体に、事業を委託している。				

目標指標	指標名	子育て支援アドバイザーの派遣回数（年間）						
	単位	回	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	500	500	500	500	500
			実績値	385	437			

令和６年度実施計画	実績値は、新型コロナウイルス感染症の５類移行後、増加傾向ではあるが依然として目標値を下回っている状況である。子育ておうえん隊（子育て支援アドバイザー）の活動の場を確保するよう、子育て広場等に制度利用の促進や積極的な周知を行う。

協働事業

No.	7	事業名	ファミリー・サポート・センター事業
部名	子ども未来部	課名	子ども育成課

総合計画上の位置付け			
	章	第１章	ひとづくり（子育て、教育、人権、男女共同）
	施策	１－２	子育て環境の充実
	施策の方向性	③子育てにやさしい地域づくりの推進	

相手方の名称	個人ボランティア及び市内で活動する法人		協働事業の実施手法	委託	
実施の時期	随時		事業開始年度	平成16年度	
令和６年度事業費	当初予算額	8,851	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	「育児の援助を受けたい人」と「育児の援助を行いたい人」が依頼・援助・両方のいずれかの会員として登録し、児童の放課後の預かりや保育所等の送迎等で育児の援助が必要となったときに、会員相互の援助活動を行っている。 なお、事業の運営については、事務の効率化及び事業内容の充実を図るため、市内で活動する法人に委託している。				

目標指標								
	指標名	ファミリー・サポート・センターの相互援助活動件数（年間）						
	単位	件	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	5,000	5,200	5,500	5,800	6,100
			実績値	5,499	4,384			

令和６年度実施計画	依頼会員と比較して援助会員の数が少ないことが本事業の継続的な課題であるため、はぐくみセンター以外の場所での説明会や講習会、また、地域子育て支援拠点事業と連携しての講座の開催等積極的な会員増加のための施策に取り組んでいく必要がある。 また、援助会員の年齢や援助可能な地域にも偏りが見られることから、より広い依頼会員のニーズに応えられるよう、制度や活動内容の広報をデジタル等を活用しながら引き続き行っていく必要がある。

協働事業

No.	8	事業名	地域で決める学校予算事業（地域学校協働活動本部）
部名	教育部	課名	地域教育課

総合計画上の位置付け			
	章	第１章	ひとづくり（子育て、教育、人権、男女共同）
	施策	１－４	教育支援体制の充実
	施策の方向性	②地域と学校の協働による取組の推進	

相手方の名称	地域教育協議会		協働事業の実施手法	委託	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成20年度	
令和６年度事業費	当初予算額	66,943	決算(見込)額		（単位：千円）

事業の概要・目的	中学校区を単位として、地域全体で学校を支援し、子どもたちを守り育てる体制をつくり、子どもたちの教育活動の充実と地域の教育力の再生、地域コミュニティの活性化を図る。地域と学校が連携・協働し、中学校区で取り組む事業と、各学校園で特色のある教育活動を実施するために取り組む事業を全中学校区で実施する。

目標指標	指標名	協力するボランティアの活動人数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	65,000	75,500	86,000	96,500	107,000
			実績値	62,095	60,815			

令和６年度実施計画	これまでに引き続き、各中学校区地域教育協議会に事業委託を行うとともに、地域教育協議会と学校が「目指す子ども像」を共有した上で、連携・協働しながら地域全体で子どもを守り育てる体制づくりを支援する。また、コロナ禍で停滞していた地域教育推進事業の充実を進めるため、各校区の成果発表・情報交換の場として「交流の集い」を開催するとともに、他校区との交流の機会を積極的に創出する。さらに、昨年度実施した協働相手からのアンケート結果より、担い手不足が深刻化している状況があるため、人材育成を目的とした研修や活動の広報を充実させるとともに、好事例の紹介を行い、人材確保のための支援を行う。

協働事業

No.	9	事業名	放課後子ども教室推進事業
部名	教育部	課名	地域教育課

総合計画上の位置付け			
	章	第１章	ひとづくり（子育て、教育、人権、男女共同）
	施策	１－４	教育支援体制の充実
	施策の方向性	②地域と学校の協働による取組の推進	

相手方の名称	小学校運営委員会		協働事業の実施手法	委託	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成19年度	
令和６年度事業費	当初予算額	19,489	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	子どもたちが地域社会の中で、心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進するため、放課後等に小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て活動を進める。勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を、全小学校区で実施する。				

目標指標	指標名	放課後子ども教室の年間実施日数						
	単位	日／校	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	31	32	33	34	35
			実績値	23	23			

令和６年度実施計画	これまでに引き続き各小学校運営委員会に事業委託を行うとともに、各運営委員会・小学校・バンビーホームと連携・協働しながら子どもたちに多様な教育活動を提供するための支援をする。また、人材育成を目的とした研修や各教室の成果発表・他の教室との情報交換の場として「交流の集い」を開催するとともに、各校区が意見・情報交換できる機会を積極的に創出していくことにより、地域での子どもの学びが止まらないよう事業を推進していく。

協働事業

No.	10	事業名	地域人権教育支援事業
部名	市民部	課名	共生社会推進課

総合計画上の位置付け			
	章	第１章	ひとづくり（子育て、教育、人権、男女共同）
	施策	１－５	人権と平和の尊重
	施策の方向性	②人権教育の推進	

相手方の名称	奈良市人権教育推進協議会		協働事業の実施手法	事業協力	
実施の時期	通年		事業開始年度	昭和48年度	
令和６年度事業費	当初予算額	1,458	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	行政と市民との中間団体である「奈良市人権教育推進協議会(人推協)」と協働し、地域における人権教育の推進を図り、「奈良市人権文化のまちづくり条例」の具体化を図る。				

目標指標	指標名	活動地区数（各年度３月31日時点）						
	単位	地区	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	40	40	40	40	40
			実績値	24	28			

令和６年度実施計画	運営団体のあり方や地区別研修会、指導者講座、人権講座等の事業実施についての検討を進め、より自主的な活動を行うよう、また、参加者が増えるよう双方協議しながら改善を図る。 また、参加型の人権講座である「なるほど！人権講座Ⅷ」を引き続き実施し、地域の中で人権啓発のリーダー的存在になれる人材の育成に取り組む。

協働事業

No.	11	事業名	男女共同参画活動団体協働事業
部名	市民部	課名	共生社会推進課　男女共同参画室

総合計画上の位置付け			
	章	第１章	ひとづくり（子育て、教育、人権、男女共同）
	施策	１－６	男女共同参画社会の実現
	施策の方向性	①男女共同参画の推進	

相手方の名称	女性団体等		協働事業の実施手法	共催	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成17年度	
令和６年度事業費	当初予算額	135	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	男女が互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を市民参画により目指す。				

目標指標	指標名	「市民講座」の受講者アンケートによる満足度						
	単位	率（満足度）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	70	75	80	85	85
			実績値	67	80			

令和６年度実施計画	市民が関心を持つことができかつ男女共同参画社会の推進につながる講座を女性団体が企画・立案を行い、開催する。行政と女性団体が協力しながら、しみんだより、市HP、各種SNS等幅広い広報を行い、多くの市民が受講できるよう開催準備を進める。

協働事業

No.	12	事業名	教育センター学習事業
部名	教育部	課名	教育支援・相談課

総合計画上の位置付け			
	章	第１章	ひとづくり（子育て、教育、人権、男女共同）
	施策		
	施策の方向性		

相手方の名称	ボランティア団体・NPO法人・民間研究団体		協働事業の実施手法	事業協力	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成23年度	
令和６年度事業費	当初予算額	18,505	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	教育センター９階は、キッズ学びのフロアとして、プラネタリウム等の設備を活用し、ものづくり体験教室や理科・科学実験教室、天文教室等を開催することで、子どもたちの豊かな学びを保障し、創造性や探究心を育て、奈良で学んだことを誇らしげに語り、たくましく生きていこうとする子どもを育成する。平日には学校園を対象としたセンター学習を、休日には親子等を対象とした「キッズホリデークラブ」を実施する。				

目標指標								
	指標名	民間協力団体数（学校、営利企業を除く）（年間）						
	単位	団体	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	8	8	8	8	8
			実績値	8	16			

令和６年度実施計画	センター学習では、学習指導要領の改訂に合わせプログラミング的思考を育成できる「ロボット教室」等の講座を、未就学児の参加も多いキッズホリデークラブでは、親子で体験・制作できる実験や工作の講座を実施する。講座開催にあたっては、ボランティア団体、NPO法人、民間研究団体の知見や協力を得て内容を充実させる。広報活動として、引き続き、ポスターやチラシ、ホームページやSNSのほか、さくら連絡網・コドモンを活用し市立小中学校及びこ幼保の各園に通う保護者に直接情報を発信することで、認知度や利便性を向上させる。また、デジタルサイネージ等積極的に媒体を活用し、より広く事業の周知を図る。

協働事業

No.	13	事業名	なら燈花会開催事業
部名	観光経済部	課名	観光戦略課

総合計画上の位置付け	章	第２章	しごとづくり（観光、産業・労働）
	施策	２－１	観光・交流の促進
	施策の方向性	①観光客の誘致と観光消費額増加に向けた取組の推進	

相手方の名称	特定非営利活動法人　なら燈花会の会		協働事業の実施手法	補助・助成	
実施の時期	８月５日～８月１４日		事業開始年度	平成11年度	
令和６年度事業費	当初予算額	10,000	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	観光閑散期の奈良の夏に多くの観光客を呼び込むため、奈良公園内の７カ所の会場で毎夜約300人を超えるボランティアの人力によって20,000個のろうそくを灯し、歴史的建造物等のライトアップを含めた夏の祭典として、なら燈花会を開催する。				

目標指標	指標名	期間中の来訪者						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
			実績値	672,000	600,000			

令和６年度実施計画	しみんだより・観光パンフレット・ホームページ・サイネージ、公共施設へのチラシ・ポスター設置等を通じ、ボランティア募集を積極的に展開する。また、「なら燈花会支援会議」に参画し、関係団体と一体になったPR活動に努める。

協働事業

No.	14	事業名	しあわせ回廊～なら瑠璃絵～開催事業
部名	観光経済部	課名	観光戦略課

総合計画上の位置付け			
	章	第２章	しごとづくり（観光、産業・労働）
	施策	２－１	観光・交流の促進
	施策の方向性	①観光客の誘致と観光消費額増加に向けた取組の推進	

相手方の名称	なら瑠璃絵実行委員会		協働事業の実施手法	補助・助成	
実施の時期	２月８日～２月14日		事業開始年度	平成21年度	
令和６年度事業費	当初予算額	8,000	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	春日大社本殿、東大寺大仏殿、興福寺東金堂の夜間拝観の実施や、奈良国立博物館の夜間開館、三社寺をつなぐ奈良公園内におけるLEDライト等によるあかりの演出などを行う。				

目標指標	指標名	期間中の来訪者						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
			実績値	315,000	143,000			

令和６年度実施計画	しみんだより・観光パンフレット・ホームページ・サイネージ等を通じ、PRを積極的に展開する。また、「なら瑠璃絵推進委員会」に参画し、関係団体と一体になったPR活動に努める。

協働事業

No.	15	事業名	バサラ祭り
部名	観光経済部	課名	観光戦略課

総合計画上の位置付け	章	第２章	しごとづくり（観光、産業・労働）
	施策	２－１	観光・交流の促進
	施策の方向性	①観光客の誘致と観光消費額増加に向けた取組の推進	

相手方の名称	特定非営利活動法人 バサラ衆		協働事業の実施手法	補助・助成	
実施の時期	８月末		事業開始年度	平成10年度	
令和６年度事業費	当初予算額	1,500	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	「バサラ祭り」は市民参加型の祭りで、それぞれ工夫を凝らしたコスチュームを着たダンスチームが各会場を踊りながらパレードを行うものであり、奈良の夏の顔の一つとして実施する。				

目標指標	指標名	期間中の来訪者数						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
			実績値	750	20,500			

令和６年度実施計画	来訪者を増やすため、事業実施について協議し、実行委員会と共に、ポスター・チラシ、観光ウインドー等で広報活動を行う。また円滑な運営のため、開催期間中は参加車両の駐車場等で協力する。

協働事業

No.	16	事業名	転害門前観光駐車場の運営管理
部名	観光経済部	課名	奈良町にぎわい課

総合計画上の位置付け			
	章	第２章	しごとづくり（観光、産業・労働）
	施策	２－１	観光・交流の促進
	施策の方向性	①観光客の誘致と観光消費額増加に向けた取組の推進	

相手方の名称	ミディ総合管理株式会社		協働事業の実施手法	指定管理	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成18年度（指定管理者制度導入年度）	
令和６年度事業費	当初予算額	3,900	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	観光客及び市民の駐車の利便性の向上のために駐車場を設置し、指定管理者制度にて運営管理を行う。				

目標指標	指標名	駐車利用台数（年間）						
	単位	台	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	6,500	6,525	6,550	6,575	6,600
			実績値	6,043	5,906			

令和６年度実施計画	指定管理者であるミディ総合管理株式会社との情報交換、報告、助言に努め、効果的な施設運営を行うことで観光客及び市民の駐車の便宜を図る。

協働事業

No.	17	事業名	奈良市ならまち格子の家の運営管理
部名	観光経済部	課名	奈良町にぎわい課

総合計画上の位置付け	章	第２章	しごとづくり（観光、産業・労働）
	施策	２－１	観光・交流の促進
	施策の方向性	①観光客の誘致と観光消費額増加に向けた取組の推進	

相手方の名称	奈良町にぎわいの家管理共同体		協働事業の実施手法	指定管理	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成18年度（指定管理者制度導入年度）	
令和６年度事業費	当初予算額	4,208	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	ならまちの伝統的な町家を再現し、観光客及び市民の観覧と便に供するとともに、町並み保全に資するために格子の家を運営する。				

目標指標	指標名	入館者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	92,000	92,050	92,100	92,150	92,200
			実績値	57,678	68,377			

令和６年度実施計画	指定管理者である奈良町にぎわいの家管理共同体との情報交換、報告、助言に努めることで、町並み保全に資するための効果的な施設運営を行う。

協働事業

No.	18	事業名	奈良町南観光案内所の運営管理
部名	観光経済部	課名	奈良町にぎわい課

総合計画上の位置付け	章	第２章	しごとづくり（観光、産業・労働）
	施策	２－１	観光・交流の促進
	施策の方向性	①観光客の誘致と観光消費額増加に向けた取組の推進	

相手方の名称	有限会社くるみの木		協働事業の実施手法	委託	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成27年度	
令和６年度事業費	当初予算額	26,788	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	案内所の運営にあたっては、委託先と適宜情報交換や協議の場を設けながら実施し、奈良町の魅力を国内外に発信しながら、奈良町南観光案内所への誘客を促進する。また、駐車場の運営にあたっては、施設の安全性や利便性の向上に努めながら、案内所と一体的な活用を行う。				

目標指標	指標名	来館者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	29,700	27,950	28,000	28,050	28,100
			実績値	16,918	16,492			

令和６年度実施計画	観光案内所の運営を委託している有限会社くるみの木との情報交換、報告、助言に努め、効果的な施設運営を行う。 また、有限会社くるみの木が指定管理している奈良町南観光駐車場についても、案内所と一体的に運用し、観光客及び案内所の利用者の利便性の向上を図る。

協働事業

No.	19	事業名	ガイド付きツアー
部名	観光経済部	課名	観光戦略課

総合計画上の位置付け			
	章	第２章	しごとづくり（観光、産業・労働）
	施策	２－１	観光・交流の促進
	施策の方向性	③地域の資源を生かしたにぎわいの創出	

相手方の名称	なら・観光ボランティアの会	協働事業の実施手法	事業協力	
実施の時期	７月・８月・12月・１月を除く通年	事業開始年度	平成22年度	
令和６年度事業費	当初予算額 200	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	観光ボランティアガイドの解説のもと、観光客の皆様に歴史の残る奈良を歩いて、学び、楽しんでもらう。			

目標指標	指標名	ガイドツアー参加者（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	226	234			

令和６年度実施計画	観光ボランティアガイドの解説のもと、観光客の皆様に歴史の残る奈良を歩いて、学び、楽しんでもらう。

協働事業

No.	20	事業名	奈良町からくりおもちゃ館の運営管理
部名	観光経済部	課名	奈良町にぎわい課

総合計画上の位置付け			
	章	第２章	しごとづくり（観光、産業・労働）
	施策	２－１	観光・交流の促進
	施策の方向性	③地域の資源を生かしたにぎわいの創出	

相手方の名称	特定非営利活動法人からくりおもちゃ塾奈良町	協働事業の実施手法	指定管理	
実施の時期	通年	事業開始年度	平成24年度	
令和６年度事業費	当初予算額	7,692	決算(見込)額	（単位：千円）
事業の概要・目的	明治初期の雰囲気が残る町家の空間のなかで、からくりおもちゃを介して、訪れていただいたお年寄りや子どもたち、観光客などの世代間交流や地域間交流の場として活用することにより、ならまちの活性化及び奈良市の観光振興の拠点とするために奈良町からくりおもちゃ館を運営する。			

目標指標	指標名	入館者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	41,300	41,350	41,400	41,450	41,500
			実績値	25,608	27,275			

令和６年度実施計画	指定管理者である特定非営利活動法人からくりおもちゃ塾奈良町との情報交換、報告、助言に努めることで、伝統的な町家を後世に引き継ぐとともに、地域の活性化と観光振興の拠点となるような効果的な施設運営を行う。

協働事業

No.	21	事業名	旧鍋屋交番きたまち案内所の運営管理
部名	観光経済部	課名	奈良町にぎわい課

総合計画上の位置付け	章	第２章	しごとづくり（観光、産業・労働）
	施策	２－１	観光・交流の促進
	施策の方向性	③地域の資源を生かしたにぎわいの創出	

相手方の名称	鍋屋連絡所の保存・活用と“奈良きたまち”のまちづくりを考える会		協働事業の実施手法	委託	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成24年度	
令和６年度事業費	当初予算額	211	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	奈良町のきたまち地域を訪れる観光客の利便性の向上を図るとともに、地域の活性化による観光振興に寄与することを目的として、まちかど観光案内所を設置する。				

目標指標	指標名	来館者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	5,200	5,225	5,250	5,275	5,300
			実績値	4,557	3,660			

令和６年度実施計画	運営委託先である鍋屋連絡所の保存・活用と“奈良きたまち”のまちづくりを考える会との情報交換、報告、助言に努めることで、観光客の利便性の向上を図るとともに、地域の活性化による観光の振興に寄与することができるような運営を行う。

協働事業

No.	22	事業名	史跡・名勝をめぐるウェルカムサービス～知って奈良とびらガイド～
部名	観光経済部	課名	観光戦略課

総合計画上の位置付け			
	章	第２章	しごとづくり（観光、産業・労働）
	施策	２－１	観光・交流の促進
	施策の方向性	③地域の資源を生かしたにぎわいの創出	

相手方の名称	なら・観光ボランティアガイドの会	協働事業の実施手法	補助・助成	
実施の時期	通年	事業開始年度	平成25年度	
令和６年度事業費	当初予算額 100	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	奈良市へ転入の届け出を行った世帯に、無料でなら・観光ボランティアガイドの会による観光案内を行う。			

目標指標	指標名	期間中の来訪者数						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	50	50	50	50	50
			実績値	20	24			

令和６年度実施計画	転入届出窓口等で、積極的なPR活動に努める。

協働事業

No.	23	事業名	奈良市きたまち転害門観光案内所の運営管理
部名	観光経済部	課名	奈良町にぎわい課

総合計画上の位置付け	章	第２章	しごとづくり（観光、産業・労働）
	施策	２－１	観光・交流の促進
	施策の方向性	③地域の資源を生かしたにぎわいの創出	

相手方の名称	転害門前旧銀行跡建物活用協議会		協働事業の実施手法	委託	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成25年度	
令和６年度事業費	当初予算額	1,677	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	旧南都銀行手貝支店である奈良市所有の町家を改修し地域の団体と協働して、きたまちの観光客に対する観光案内や、観光資源の発掘及び調査研究、地域活性化の拠点などとして多目的に利用できる観光案内所として運営する。				

目標指標	指標名	来館者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	8,150	8,175	8,200	8,225	8,250
			実績値	8,430	8,236			

令和６年度実施計画	運営委託先である転害門前旧銀行跡建物活用協議会との情報交換、報告、助言に努めることで、観光客の利便性の向上を図るとともに、地域の活性化による観光の振興に寄与することができるような運営を行う。

協働事業

No.	24	事業名	奈良町にぎわいの家の運営管理
部名	観光経済部	課名	奈良町にぎわい課

総合計画上の位置付け	章	第２章	しごとづくり（観光、産業・労働）
	施策	２－１	観光・交流の促進
	施策の方向性	③地域の資源を生かしたにぎわいの創出	

相手方の名称	奈良町にぎわいの家管理共同体		協働事業の実施手法	委託	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成27年度	
令和６年度事業費	当初予算額	16,700	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	奈良町を訪れる観光客、奈良町に暮らす住民、奈良にゆかりを持つ多くの人々が集う、奈良町に息づく歴史文化の発信拠点、にぎわい創出の拠点とするために奈良町にぎわいの家を運営する。				

目標指標	指標名	来館者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	93,200	93,250	93,300	93,350	93,400
			実績値	58,628	64,092			

令和６年度実施計画	指定管理者である奈良町にぎわいの家管理共同体との情報交換、報告、助言に努め、効果的な施設運営を行うことで、伝統的な町家を後世に引き継ぐとともに、観光振興、地域の活性化、市民と観光客の交流及び教育機関との連携の拠点となるような運営を行う。

協働事業

No.	25	事業名	奈良市京終駅観光案内所の運営管理
部名	観光経済部	課名	奈良町にぎわい課

総合計画上の位置付け	章	第２章	しごとづくり（観光、産業・労働）
	施策	２－１	観光・交流の促進
	施策の方向性	③地域の資源を生かしたにぎわいの創出	

相手方の名称	特定非営利活動法人　京終		協働事業の実施手法	委託	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成30年度	
令和６年度事業費	当初予算額	2,306	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	「駅機能」に魅力ある空間の演出を施すとともに、集客や、賑わいを創出する「観光案内機能」と「コミュニティ機能」を付加する事により、訪れる人々と、地域に暮らす人々が交わることで、賑わいが創出される拠点としての場作りを目指す。				

目標指標	指標名	来館者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	6,120	6,150	6,175	6,200	6,225
			実績値	5,093	4,687			

令和６年度実施計画	運営委託先である特定非営利活動法人京終との情報交換、報告、助言に努めることで、観光客の利便性の向上を図るとともに、地域の活性化による観光の振興に寄与することができるような運営を行う。

協働事業

No.	26	事業名	インターカレッジフォーラムin奈良きたまち
部名	観光経済部	課名	奈良町にぎわい課

総合計画上の位置付け			
	章	第２章	しごとづくり（観光、産業・労働）
	施策	２－１	観光・交流の促進
	施策の方向性	③地域の資源を生かしたにぎわいの創出	

相手方の名称	大学・まちづくり団体		協働事業の実施手法	共催	
実施の時期	４月から８月		事業開始年度	令和３年度	
令和６年度事業費	当初予算額	296	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	新奈良町にぎわい構想の一環で、大学や地域住民、まちづくり団体と連携し、奈良町のきたまちエリアで課題解決型授業（フィールドワーク）を実施し、学生と地域の交流を促し、地域発表会で地域還元を行うことで、奈良町での民学官連携による奈良町研究を促進する。将来の奈良町関係者となる担い手の育成を視野に入れ、奈良町でさまざまな分野の学生が関わることができる環境づくりを行う。				

目標指標	指標名							
	単位		年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値					
			実績値					

令和６年度実施計画	オリエンテーション、ヒアリング、中間発表、詳細調査、最終発表の流れでを実施する。大学、まちづくり団体と協議し、目的を共有し、協力しながら進める。最終発表後は、関係者とともに事業報告書を作成し、取組内容や成果を発信する。

協働事業

No.	27	事業名	奈良町見知ル―奈良町のちょっといいところを見て知る秋の１週間―
部名	観光経済部	課名	奈良町にぎわい課

総合計画上の位置付け	章	第２章	しごとづくり（観光、産業・労働）
	施策	２－１	観光・交流の促進
	施策の方向性	③地域の資源を生かしたにぎわいの創出	

相手方の名称	実行委員会		協働事業の実施手法	共催	
実施の時期	11月		事業開始年度	令和３年度	
令和６年度事業費	当初予算額	1,119	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	奈良町の各エリア（ならまち、きたまち、京終、高畑）の既存まちづくり団体、公共施設などが連携して、共通のテーマでの展示や特別公開といったミニイベントを同期間に集中的に行い、奈良町エリアをめぐってもらうためのイベントを毎年開催する。イベントの推進運営を通じて、各種団体、施設などの連携強化を目指す。				

目標指標	指標名	イベント企画・運営に関わる団体・組織数（年間）						
	単位	団体	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	30	30	30	30	30
			実績値	30	30			
令和６年度実施計画	地域のまちづくり団体等で設立する実行委員会と共催してイベントを企画運営する中で、イベントの枠組みを整え、奈良町（きたまち、ならまち、高畑、京終・紀寺）エリアで開催する特別公開や特別イベントを実施する施設管理者やイベント主催者間、実行委員会と関係者との連携強化を図る。							

協働事業

No.	28	事業名	JR帯解駅舎保存整備事業
部名	観光経済部	課名	奈良町にぎわい課

総合計画上の位置付け			
	章	第２章	しごとづくり（観光、産業・労働）
	施策	２－１	観光・交流の促進
	施策の方向性	③地域の資源を生かしたにぎわいの創出	

相手方の名称	帯解駅舎保存・活用の会		協働事業の実施手法	事業協力	
実施の時期	通年		事業開始年度	令和６年度	
令和６年度事業費	当初予算額	0	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	登録有形文化財に登録されているＪＲ帯解駅舎（登録名称：帯解駅本屋）について、文化財的価値の保存・活用を図るとともに、地域住民や来訪者の交流拠点として整備する。				

目標指標	指標名							
	単位		年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値					
			実績値					

令和６年度実施計画	令和８年度の竣工を目指し、地域の活性化、観光振興につながる施設とするよう、工事の設計、活用計画等について、帯解駅舎保存・活用の会と協議を行う。９月に地域住民の関心を高めるため、帯解駅舎保存・活用の会主催、奈良市共催でフォーラムを実施する。

協働事業

No.	29	事業名	なら工藝館の運営管理
部名	観光経済部	課名	産業政策課

総合計画上の位置付け			
	章	第２章	しごとづくり（観光、産業・労働）
	施策	２－２	商工・サービス業の活性化
	施策の方向性	①商工業の充実と支援	

相手方の名称	小学館集英社プロダクション共同事業体		協働事業の実施手法	指定管理	
実施の時期	通年		事業開始年度	令和5年度	
令和６年度事業費	当初予算額	43,469	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	奈良の伝統工芸を受け継ぎ発展させるための施設として、なら工藝館では奈良町の一角において、工芸品の展示、制作体験や教室を開き、多くの人に奈良の伝統工芸品に触れる機会を提供している。また、後継者の育成に取り組むとともに、工芸作家と使い手との交流機会を創出することなどにより、伝統工芸の活性化を図る。				

目標指標	指標名	入館者数						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	－	38,000	40,000	42,000	45,000
			実績値	－	38,002			

令和６年度実施計画	入館者数の増加や工芸品の販売力向上を図るとともに、若手工芸作家の販路開拓や実演等によるPR支援をより一層充実させるよう取り組んでいく。

協働事業

No.	30	事業名	森林保全・緑化事業
部名	観光経済部	課名	農政課

総合計画上の位置付け			
	章	第２章	しごとづくり（観光、産業・労働）
	施策	２－３	農林業の振興
	施策の方向性	②森林環境の保全	

相手方の名称	奈良市巨樹保存等審議会委員	協働事業の実施手法	審議会・委員会等	
実施の時期	通年	事業開始年度	平成15年度	
令和６年度事業費	当初予算額 196	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	森林を保護・育成し森林の保全及び緑化推進の市民意識の向上を図る。また、奈良市巨樹の保存及び緑化の推進に関する条例に基づき、巨樹の保存等に努める。			

目標指標	指標名	保存樹指定本数（各年度４月１日時点）						
	単位	本（累計）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	24	25	25	26	26
			実績値	23	23			

令和６年度実施計画	巨樹等の指定は「奈良市巨樹等の保存及び緑化の推進に関する条例」に基づき平成15年度から開始し、現在23件を指定樹木としている。近年は新たな指定に係る申請はなく、今後の新たな指定については、申請に基づき指定に係る審議を行う。

協働事業

No.	31	事業名	奈良市月ヶ瀬福祉センターの運営
部名	福祉部	課名	長寿福祉課

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－１	地域福祉と総合的な生活保障の推進
	施策の方向性	①総合的な相談支援体制の整備	

相手方の名称	（福）奈良市社会福祉協議会	協働事業の実施手法	指定管理	
実施の時期	通年	事業開始年度	平成22年度（指定管理者制度導入年度）	
令和６年度事業費	当初予算額 33,483	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	市民の福祉活動の振興及び健康の増進を図り、市民の福祉の向上に資する。			

目標指標	指標名	利用者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	20,000	21,450	22,900	24,350	25,800
			実績値	18,593	19,241			

令和６年度実施計画	地域の福祉活動の場の提供や福祉相談窓口を設置する等、福祉活動の支援及び交流の場を提供していくことで、市民のニーズを集約し実施する。また自主事業等を実施し、月ヶ瀬福祉センターだよりなどで、事業の広報を行い広く周知に努めていく。

協働事業

No.	32	事業名	奈良市都祁福祉センターの運営
部名	福祉部	課名	長寿福祉課

総合計画上の位置付け	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－１	地域福祉と総合的な生活保障の推進
	施策の方向性	①総合的な相談支援体制の整備	

相手方の名称	（福）奈良市社会福祉協議会		協働事業の実施手法	指定管理	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成22年度（指定管理者制度導入年度）	
令和６年度事業費	当初予算額	39,150	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	市民の福祉活動の振興及び健康の増進を図り、市民の福祉の向上に資する。				

目標指標	指標名	利用者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	17,000	20,375	23,750	27,125	30,500
			実績値	11,947	22,061			

令和６年度実施計画	地域の福祉活動の場の提供や総合相談窓口を設置する等、市民の福祉意識の向上を図りつつ、都祁福祉センターだより等で事業の広報を行い利用者の増加にも努めていく。

協働事業

No.	33	事業名	視覚障害者向け広報等発行事業
部名	福祉部	課名	障がい福祉課

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－２	障害者福祉の充実
	施策の方向性	①障害者・児への支援の充実	

相手方の名称	ボランティア団体		協働事業の実施手法	補助・助成	
実施の時期	通年		事業開始年度	昭和57年度	
令和６年度事業費	当初予算額	947	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	視覚障害者の内、希望者にしみんだよりなどの広報の点字版や音声版を製作し配布する。				

目標指標	指標名	ボランティアの人数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	41	41	41	41	41
			実績値	40	36			

令和６年度実施計画	・市は点訳ボランティア及び音訳ボランティアに総合福祉センターの一室と点字用紙や録音用CD、製作用機材を提供し、ボランティアは市の広報誌等の点字版、音声版を製作、希望する視覚障害者に配布する。また、各課に本事業を周知し、ボランティアとの積極的な協働を促す。 ・障害者の地域生活を支援するボランティアを育成する。

協働事業

No.	34	事業名	奈良市総合福祉センターの運営
部名	福祉部	課名	障がい福祉課

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－２	障害者福祉の充実
	施策の方向性	①障害者・児への支援の充実	

相手方の名称	（社福）奈良市社会福祉協議会		協働事業の実施手法	指定管理	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成22年度（指定管理者制度導入年度）	
令和６年度事業費	当初予算額	123,553	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	障害者のための施策その他社会福祉施策の総合的な推進及び社会福祉活動の育成を図り、もって市民の福祉の増進に資するために設置された総合福祉センターを運営する。				

目標指標	指標名	施設の利用者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	46,427	57,320	68,213	79,106	90,000
			実績値	40,063	53,763			

令和６年度実施計画	障害者福祉及び市民の福祉活動の振興を図り、もって市民の福祉の向上に資するため、奈良市社会福祉協議会を指定管理者として総合福祉センターの施設運営を行う。

協働事業

No.	35	事業名	認知症サポーター養成講座
部名	福祉部	課名	福祉政策課

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－３	高齢者福祉の充実
	施策の方向性	①地域包括ケアシステムの構築	

相手方の名称	地域包括支援センター職員を含むキャラバンメイト		協働事業の実施手法	事業協力	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成20年度	
令和６年度事業費	当初予算額	164	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	国の認知症サポーター100万人キャラバン事業に基づき、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り、支援する認知症サポーターの養成や、その養成のための講師となるキャラバン・メイトの活動を支援する。				

目標指標								
	指標名	認知症サポーター数（５ヶ年で約21,000名を養成）						
	単位	人（累積）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	33,200	37,400	41,600	45,800	50,000
			実績値	31,224	33,112			

令和６年度実施計画	継続して認知症サポーター養成講座を実施し、認知症に関する理解を深めてもらうだけでなく、認知症を自分ごとして捉えることができるサポーターを養成するとともに、養成したサポーターに対するステップアップ研修の実施や、活躍したいという思いを持つサポーターと認知症の本人のニーズをマッチングさせる仕組みづくりについて、関係機関と検討を行う。

協働事業

No.	36	事業名	老人福祉センターの運営
部名	福祉部	課名	長寿福祉課

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－３	高齢者福祉の充実
	施策の方向性	②将来も安心できる福祉サービスの継続	

相手方の名称	（福）奈良市社会福祉協議会		協働事業の実施手法	指定管理	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成20年度	
令和６年度事業費	当初予算額	73,617	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	高齢者の心身の健康保持及び増進を図るとともに、地域における交流の場として便宜を供与することによって生きがいづくりに寄与し、もって高齢者の福祉に資するため、東・西・南・北４箇所の老人福祉センターを運営する。				

目標指標	指標名	利用者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	50,000	87,500	125,000	162,500	200,000
			実績値	44,147	63,799			

令和６年度実施計画	各センターに総合相談窓口を設置し、広く利用してもらうため、協働相手と調整を進めていく。また事業の参加支援や地域づくり支援を意識し、来館者が増えるよう事業を企画展開。各々の役割分担を明確にし、福祉センターの方向性と目指すべき機能について検討。施設管理においては、迅速な情報共有を行い利用者への影響を最小限にとどめ、整備に努める。

協働事業

No.	37	事業名	公民館の運営管理
部名	教育部	課名	地域教育課

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－７	社会教育の推進
	施策の方向性	①公民館の活用	

相手方の名称	公益財団法人奈良市生涯学習財団	協働事業の実施手法	指定管理	
実施の時期	通年	事業開始年度	平成18年度（指定管理者制度導入年度）	
令和６年度事業費	当初予算額 613,248	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	いつでも、どこでも、だれでも学べる学習環境の醸成と整備を促進するとともに、学びの成果が活力ある地域づくりにつながる生涯学習活動を推進する。また、市民の生涯学習活動の拠点となる公民館を管理し、市民が健康かつ豊かな生活を送ることができる機会を提供する。			

目標指標	指標名	利用者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	329,000	362,000	399,000	440,000	485,000
			実績値	418,907	459,845			

令和６年度実施計画	公民館の事業展開及び施設運営について、市の方針を共有し、協議を行いながら、市民の多様なニーズに応える各種事業を企画・実施するとともに市民の立場に立った公民館の管理運営を行う。また、地域課題を抽出し、その解決に向けた取組を行うため、地域とのつながりを重視し、市との情報共有に努める。

協働事業

No.	38	事業名	奈良市立都祁診療所・月ヶ瀬診療所の運営
部名	健康医療部	課名	医療政策課

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－４	医療体制の充実と健康の増進
	施策の方向性	①地域医療体制の充実	

相手方の名称	公益社団法人　地域医療振興協会		協働事業の実施手法	指定管理	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成22年度（指定管理者制度導入年度）	
令和６年度事業費	当初予算額	39,800	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	医療機関の少ない東部地域において、安定した保健医療サービス（診療、健康診断、健康相談、予防接種等）を行うことにより、地域の住民の方々に安心して健やかな生活を営んでいただくよりどころとする。 （※東部地域医療の特性上、目標値の設定はせず実績値のみ記載する。）				

目標指標	指標名	診療所利用者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値					
			実績値	23,109	20,648			

令和６年度実施計画	指定管理者との管理運営協議会を設置し、情報共有を行うことでより良い診療所運営を行う。

協働事業

No.	39	事業名	奈良市立柳生診療所・田原診療所の運営
部名	健康医療部	課名	医療政策課

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－４	医療体制の充実と健康の増進
	施策の方向性	①地域医療体制の充実	

相手方の名称	公益社団法人　地域医療振興協会		協働事業の実施手法	指定管理	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成18年度（指定管理者制度導入年度）	
令和６年度事業費	当初予算額	27,186	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	医療機関の少ない東部地域において、安定した保健医療サービス（診療、健康診断、健康相談、予防接種等）を行うことにより、地域の住民の方々に安心して健やかな生活を営んでいただくよりどころとする。 （※東部地域医療の特性上、目標値の設定はせず実績値のみ記載する。）				

目標指標	指標名	診療所利用者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値					
			実績値	6,305	6,170			

令和６年度実施計画	指定管理者との管理運営協議会を設置し、情報共有を行うことでより良い診療所運営を行う。

協働事業

No.	40	事業名	奈良市立興東診療所の運営
部名	健康医療部	課名	医療政策課

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－４	医療体制の充実と健康の増進
	施策の方向性	①地域医療体制の充実	

相手方の名称	公益社団法人　地域医療振興協会		協働事業の実施手法	指定管理	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成28年度	
令和６年度事業費	当初予算額	10,000	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	医療機関の少ない東部地域において、安定した保健医療サービス（診療、健康診断、健康相談、予防接種等）を行うことにより、地域の住民の方々に安心して健やかな生活を営んでいただくよりどころとする。 （※東部地域医療の特性上、目標値の設定はせず実績値のみ記載する。）				

目標指標	指標名	診療所利用者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値					
			実績値	611	587			

令和６年度実施計画	指定管理者との管理運営協議会を設置し、情報共有を行うことでより良い診療所運営を行う。

協働事業

No.	41	事業名	奈良市総合医療検査センターの運営
部名	健康医療部	課名	医療政策課

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－４	医療体制の充実と健康の増進
	施策の方向性	①地域医療体制の充実	

相手方の名称	一般社団法人　奈良市医師会		協働事業の実施手法	指定管理	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成28年度（当該指定管理開始年度）	
令和６年度事業費	当初予算額	3,236	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	市民の日常の健康増進、疾病の予防及び発見、リハビリテーションまでの包括的な保健医療サービスを効果的に提供するため総合医療検査センターを設置し、人間ドッグ、がん検診及び定期健康診断等の検診事業並び食事栄養指導、運動指導及び健康講座等の健康増進事業等を実施する。				

目標指標	指標名	センター利用件数（年間）						
	単位	件	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000
			実績値	134,497	133,753			

令和６年度実施計画	市民の健康の保持・増進、疾病の早期発見及び予防の推進のため、検診受診者の拡大を図るとともに検査事業においては精度管理に努める。

協働事業

No.	42	事業名	運動推進事業
部名	健康医療部	課名	健康増進課

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－４	医療体制の充実と健康の増進
	施策の方向性	②データを活用した保健事業の推進	

相手方の名称	奈良市運動習慣づくり推進員協議会	協働事業の実施手法	委託	
実施の時期	通年	事業開始年度	平成18年度	
令和６年度事業費	当初予算額 240	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	市民の健康に対する意識を高め、運動習慣のある者を増やし、生活習慣病の予防を図ることで健康寿命の延伸を図ることを目的とする。			

目標指標	指標名	奈良市運動習慣づくり推進員協議会主催実施回数（年間）						
	単位	回	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	8	11	16	22	22
			実績値	6	9			

令和６年度実施計画	・屋外ウォーキングの実施(年10回) ・運動習慣づくり推進員養成講座の実施 ・運動教室の実施(年6回) ・奈良市運動習慣づくり推進員協議会と活動計画や評価について検討会議を実施 ・運動に関する啓発活動

協働事業

No.	43	事業名	地域自治協議会主体の広報紙等の配布
部名	総合政策部	課名	秘書広報課

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－５	地域コミュニティと市民活動の活性化
	施策の方向性	①地域活動の推進	

相手方の名称	地域自治協議会		協働事業の実施手法	事業協力	
実施の時期	通年		事業開始年度	令和元年度	
令和６年度事業費	当初予算額	10,500	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	行政が作成した広報紙等を、地域自治協議会が配布に関する業務を担うことにより、各地区での地域づくりの推進と地域内の活性化を図る。				

目標指標	指標名	広報紙等の年間配布部数（各年度末時点）						
	単位	部	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000
			実績値	349,460	350,507			

令和６年度実施計画	大宮・大安寺西・左京・済美・明治・朱雀地区の６つの地域自治協議会と協働し、奈良しみんだよりを始めとする行政の各種広報紙を地域内の各家庭等へ毎月１日までに配布する。市ではつかみづらい住民の居住実態等の情報を地域内で把握し、適切な時期に必要な情報が届くように調整を行う。

協働事業

No.	44	事業名	自治連合会との連携・協働
部名	市民部	課名	地域づくり推進課・各出張所・行政センター

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－５	地域コミュニティと市民活動の活性化
	施策の方向性	①地域活動の推進	

相手方の名称	奈良市自治連合会、各地区自治連合会	協働事業の実施手法	補助・助成	
実施の時期	通年	事業開始年度	ー	
令和６年度事業費	当初予算額 11,484	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	地域コミュニティの推進や地域の対話促進、地域福祉の充実を図るため、情報提供や職員による人的支援、財政支援を行い、奈良市自治連合会及び各地区自治連合会の活動を支援する。			

目標指標	指標名	自治会加入率（世帯数）						
	単位	%	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	67	67	67	67	67
			実績値	67	66			

令和６年度実施計画	毎月開催される奈良市自治連合会の役員会・定例会に市職員が出席し、市政情報の共有や市事業への協力依頼を行う。また、奈良市自治連合会との定期的な会議等により密に連携し、各課との調整や事務局業務を支援する。 また、各地域を担当する「地域づくりコーディネーター」が地域と各担当課とのパイプ役となり地域課題解決に向けた支援を行うとともに、市自治連合会及び各地区自治連合会へ交付金による財政支援を行う。

協働事業

No.	45	事業名	地域自治協議会との連携・協働
部名	市民部	課名	地域づくり推進課・各出張所・行政センター

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－５	地域コミュニティと市民活動の活性化
	施策の方向性	①地域活動の推進	

相手方の名称	地域自治協議会	協働事業の実施手法	補助・助成	
実施の時期	通年	事業開始年度	ー	
令和６年度事業費	当初予算額 18,650	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	地域コミュニティが弱体化している中、担い手不足を解消し、地域課題を効果的に解決できるように、地域住民組織（自治会・各種団体）やNPOなどが連携・協働し、地域を包括的かつ持続的に運営する組織として、地域自治協議会の設立を推進し、その活動を支援する。			

目標指標	指標名	地域自治協議会認定数（各年度３月31日時点）						
	単位	団体（累積）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	14	18	22	26	30
			実績値	14	16			

令和６年度実施計画	毎月開催される奈良市自治連合会の地域自治協議会推進部会に市職員が出席し各地区の状況を把握するとともに、各地域を担当する「地域づくりコーディネーター」が地域自治協議会の設立に向けた取組を行う。また、地域づくり一括交付金制度により、希望する地域自治協議会に対して地域活動推進交付金と自主防災・防犯組織活動交付金を一括して交付することにより、地域一体となった取組を推進する。

協働事業

No.	46	事業名	地域ミーティングの開催
部名	市民部	課名	地域づくり推進課

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－５	地域コミュニティと市民活動の活性化
	施策の方向性	①地域活動の推進	

相手方の名称	奈良市自治連合会		協働事業の実施手法	共催	
実施の時期	随時		事業開始年度	平成25年度	
令和６年度事業費	当初予算額	0	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	市長が直接地域に出向き、地域活動に取り組む各種団体の役員と対話を行う中で、地域課題に対する認識を共有し、地域・行政が協働して解決に向けて考えていくことを目的に、平成25年10月から「地域ミーティング」を実施。平成30年11月からは、より多くの地区で実施できるよう、中学校区単位で実施している。 （平成29年12月～平成30年７月は、奈良市自治連合会のブロックを単位として、市長が地域を訪れ、地区の主要四団体の役員との対話を通して情報共有と一層のパートナーシップの強化を図ることを目的に「地域の未来についての懇談会」として開催）				

目標指標	指標名	地域ミーティング開催地区数（年間）						
	単位	地区（中学校区）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	21	21	21	21	21
			実績値	0	9			

令和６年度実施計画	各ブロック単位もしくば地区自治連合会単位で、地域の課題について、地域と市長とが直接意見交換を行う「市長との意見交換会」として開催を予定している。

協働事業

No.	47	事業名	奈良市ボランティアセンターの運営
部名	市民部	課名	地域づくり推進課

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－５	地域コミュニティと市民活動の活性化
	施策の方向性	②ボランティア・ＮＰＯ活動の活性化	

相手方の名称	（社福）奈良市社会福祉協議会	協働事業の実施手法	指定管理	
実施の時期	通年	事業開始年度	平成18年度（指定管理者制度導入年度）	
令和６年度事業費	当初予算額 29,150	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	市民の地域福祉活動への積極的な参加促進を図るとともに、様々な分野で広がりをみせるボランティア活動を支援し、やさしさとふれあいのある住みよい奈良のまちづくりを目指すため、奈良市ボランティアセンターにおいて、ボランティア活動の相談受付、情報提供、支援等の運営を適切に行う。			

目標指標	指標名	奈良市ボランティアセンター利用者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	10,500	13,500	16,500	19,500	22,500
			実績値	9,153	11,102			

令和６年度実施計画	指定管理事業に加え、ボランティア活動上の事故等のリスクに対応すべく、各種ボランティア保険の加入促進や年々増加傾向にある事故への迅速な対応を行う。また、奈良市における災害ボランティアセンターの運営体制を整備する。

協働事業

No.	48	事業名	HUG²（はぐはぐ）祭りの開催
部名	市民部	課名	地域づくり推進課

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－５	地域コミュニティと市民活動の活性化
	施策の方向性	②ボランティア・ＮＰＯ活動の活性化	

相手方の名称	市民公益活動団体	協働事業の実施手法	事業協力		
実施の時期	12月	事業開始年度	平成26年度		
令和６年度事業費	当初予算額	66	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	市民に、ボランティアや市民公益活動団体の様々な活動について知っていただくとともに、その魅力を伝え、ともに活動したり支援したりするきっかけをつくり出すこと、また市民公益活動団体の情報交換や交流の機会創出を目的に、ボランティアインフォメーションセンターにおいて、HUG²（はぐはぐ）祭りを開催する。				

目標指標	指標名	ＨＵＧ²祭り参加者数及びライブ配信視聴数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	1,200	1,250	1,300	1,400	1,500
			実績値	912	1,469			

令和６年度実施計画	HUG²（はぐはぐ）祭りのサポーター（団体・個人）を募集し、５月よりサポーターズ会議を月に１回開催し、市民公益活動団体と職員で協議を重ねていく。 企画の段階から準備、祭り当日の運営及び進行も市民公益活動団体と職員と協働で行い開催する。 また、事前準備から当日の運営まで、あらゆる年代の市民ボランティアの方々にご協力頂き、みんなで作り上げるイベント作りを目指す。

協働事業

No.	49	事業名	ならまちわらべうたフェスタ
部名	観光経済部	課名	奈良町にぎわい課

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－６	文化・スポーツの振興
	施策の方向性	①市民文化と都市文化の振興	

相手方の名称	文化団体・NPO・財団等		協働事業の実施手法	実行委員会・協議会	
実施の時期	10月		事業開始年度	平成５年度	
令和６年度事業費	当初予算額	1,503	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	わらべうたは子どもたちによって遊びの中で伝えられ、それぞれの時代の子どもの様子や人々の文化が表現されている。このわらべうたを貴重な無形文化遺産と位置づけ広く継承することと、「ならまち」の地域活性化と文化振興を目的にわらべうたをベースとしたおまつりを開催する。				

目標指標	指標名	ならまちわらべうたフェスタ協力団体数の維持						
	単位	団体	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	31	31	31	31	31
			実績値	27	25			

令和６年度実施計画	「ならまち」エリアで活動する民間団体が協働し、地域活性化と文化振興を目的としたわらべうたのイベントを開催する。

協働事業

No.	50	事業名	文化施設の運営管理
部名	市民部	課名	文化振興課

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	
	施策	３－６	文化・スポーツの振興
	施策の方向性	①市民文化と都市文化の振興	

相手方の名称	（一財）法人奈良市総合財団、（株）奈良ホテル、（公財）奈良市生涯学習財団、（社福）奈良市社会福祉協議会	協働事業の実施手法	指定管理	
実施の時期	通年	事業開始年度	平成16年度（指定管理者制度導入年度）	
令和６年度事業費	当初予算額 807,109	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	施設を安心安全に運営管理するとともに、各施設の特色を活かした多様な文化事業を実施することで、市民が文化芸術に触れたり、市民自らの文化活動の成果発表のための機会を創出するすることで、市民文化及び都市文化の振興をめざす。			

目標指標	指標名	文化施設利用者数（オンライン事業参加者数含む）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	623,400	642,800	662,200	681,600	701,000
			実績値	561,573	603,932			

令和６年度実施計画	指定管理者と情報の共有、報告や協議等に努め、施設利用者の満足度の高い施設運営を実施する。

協働事業

No.	51	事業名	奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良」
部名	市民部	課名	文化振興課

総合計画上の位置付け	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－６	文化・スポーツの振興
	施策の方向性	①市民文化と都市文化の振興	

相手方の名称	奈良市アートプロジェクト実行委員会		協働事業の実施手法	実行委員会・協議会	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成29年度	
令和６年度事業費	当初予算額	10,343	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	「東アジア文化都市2016奈良市」の成果を引き継ぐため、平成28年12月に「奈良市アートプロジェクト実行委員会」を立ち上げ、社会課題をアートによって掘り下げ、新たな価値につなげていくための取組を進める。				

目標指標	指標名	事業満足度（大変良いと良いの合計）						
	単位	%	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	80	80	80	80	80
			実績値	98	80			

令和６年度実施計画	奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良」事業を進めるにあたって、実行委員会と協議しながら事業を実施する。

協働事業

No.	52	事業名	奈良市都祁交流センターの運営
部名	市民部	課名	都祁行政センター地域振興課

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－６	文化・スポーツの振興
	施策の方向性	①市民文化と都市文化の振興	

相手方の名称	一般財団法人　奈良市総合財団		協働事業の実施手法	指定管理	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成18年度（指定管理者制度導入年度）	
令和６年度事業費	当初予算額	26,300	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	市民の文化振興と福祉の増進を図るとともに、地域間・世代間交流を促進するための文化活動の拠点となる施設の管理を行う。				

目標指標								
	指標名	利用者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	9,300	9,400	9,500	9,600	9,700
			実績値	12,152	12,187			

令和６年度実施計画	指定管理者と情報共有や十分な協議を行いながら、自主事業の充実を図り、安心・安全で市民に良質なサービスを提供できるよう支援する。

協働事業

No.	53	事業名	奈良市都祁生涯スポーツセンターコート等４施設の運営
部名	市民部	課名	都祁行政センター地域振興課

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－６	文化・スポーツの振興
	施策の方向性	②スポーツ活動の推進とスポーツ産業の振興	

相手方の名称	一般財団法人　奈良市総合財団		協働事業の実施手法	指定管理	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成22年度（８月供用開始）	
令和６年度事業費	当初予算額	10,900	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	健康で生きがいを持って暮らせるよう、生涯スポーツ宣言地域としてスポーツ・レクリエーションを通じて健康を維持・推進できるよう安全・安心なスポーツ施設の管理運営を行う。				

目標指標								
	指標名	利用者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	17,800	17,900	18,000	18,100	18,200
			実績値	18,086	19,980			

令和６年度実施計画	指定管理者と情報共有や十分な協議を行いながら、自主事業の充実を図り、安心・安全で市民に良質なサービスを提供できるよう支援する。

協働事業

No.	54	事業名	奈良市都祁体育館の運営
部名	市民部	課名	都祁行政センター地域振興課

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－６	文化・スポーツの振興
	施策の方向性	②スポーツ活動の推進とスポーツ産業の振興	

相手方の名称	一般財団法人　奈良市総合財団		協働事業の実施手法	指定管理	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成18年度（指定管理者制度導入年）	
令和６年度事業費	当初予算額	7,240	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	健康で生きがいを持って暮らせるよう、生涯スポーツ宣言地域としてスポーツ・レクリエーションを通じて健康を維持・推進できるよう安全・安心なスポーツ施設の管理運営を行う。				

目標指標								
	指標名	利用者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	9,050	9,100	9,150	9,200	9,250
			実績値	8,893	10,235			

令和６年度実施計画	指定管理者と情報共有や十分な協議を行いながら、自主事業の充実を図り、安心・安全で市民に良質なサービスを提供できるよう支援する。

協働事業

No.	55	事業名	おはなし会
部名	教育部	課名	中央図書館

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－７	社会教育の推進
	施策の方向性	②図書館の充実	

相手方の名称	ボランティア		協働事業の実施手法	共催	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成20年度	
令和６年度事業費	当初予算額	338	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	図書館において「おはなし会」を開催し、絵本の読み聞かせ・おはなし・パネルシアター・人形劇などを通して、物語などのすばらしさを伝え、子どもの想像力と豊かな感性を育むとともに、読書への好奇心と興味を高めていき、子どもの健全育成を図る。				

目標指標	指標名	参加人数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	917	1,362			

令和６年度実施計画	図書館において「おはなし会」を開催し、絵本の読み聞かせ・おはなしなどを通して物語などのすばらしさを伝え、子どもの想像力と豊かな感性を育むとともに読書への好奇心と興味を高めていき、子どもの健全育成を図る。

協働事業

No.	56	事業名	市民考古サポーター活動事業
部名	教育部	課名	文化財課埋蔵文化財調査センター

総合計画上の位置付け	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－８	文化遺産の保存と活用
	施策の方向性	②文化財の活用と啓発	

相手方の名称	寧楽考古楽倶楽部		協働事業の実施手法	事業協力	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成21年度	
令和６年度事業費	当初予算額	72	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	寧楽考古楽倶楽部は、平成20年度「市民考古サポーター養成講座」の修了者が組織した団体で、発掘調査・遺物整理・展示公開・講演・説明会等、埋蔵文化財調査センターが行う考古学的調査研究、保存活用事業に参加支援し、考古学を自由な立場で楽しみながら学び、その活動を通じ文化財保護へ寄与してもらう。				

目標指標	指標名	市民考古サポーターの人員（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	103	103	103	103	103
			実績値	103	110			

令和６年度実施計画	市の活用事業計画に対応する形で、２ヶ月毎に活動計画を策定し、遺物整理・展示公開・講演会・市民考古学講座・発掘調査現地公開を実施する。その後各事業ごとに協働内容を確認し、意見・要望を整理したうえで、倶楽部の役員会において担当職員と役員で今後の方向性等を協議する。

協働事業

No.	57	事業名	文化財講座
部名	教育部	課名	文化財課

総合計画上の位置付け	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－８	文化遺産の保存と活用
	施策の方向性	②文化財の活用と啓発	

相手方の名称	文化財関連団体、公益財団法人奈良市生涯学習財団（都跡公民館）等	協働事業の実施手法	共催
実施の時期	年１回	事業開始年度	共催での実施は平成27年度から
令和６年度事業費	当初予算額 466	決算(見込)額	（単位：千円）
事業の概要・目的	市民に広く奈良の文化財を周知し、理解と関心を深めてもらい、保護や活用に積極的に関わる契機として、体験学習・見学等を組み合わせた講座を開催する。		

目標指標	指標名	協働での実施回数（年間）						
	単位	回	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	1	1	1	1	1
			実績値	3	2			

令和６年度実施計画	都跡公民館との協働で、公民館に隣接する旧田中家住宅（市指定文化財）を活用し、かまどでの炊飯等の昔の暮らし体験を含む講座を実施する。

協働事業

No.	58	事業名	史料保存館展示関連見学会
部名	教育部	課名	文化財課

総合計画上の位置付け	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－８	文化遺産の保存と活用
	施策の方向性	②文化財の活用と啓発	

相手方の名称	NPO法人なら・観光ボランティアガイドの会「朱雀」		協働事業の実施手法	共催	
実施の時期	年４回		事業開始年度	平成28年度	
令和６年度事業費	当初予算額	343	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	史料保存館の展示テーマに合わせた市内の現地見学と、史料保存館の展示見学を行い、奈良の歴史文化に対する知識を深め、文化財保護の推進を図る。				

目標指標	指標名	実施回数（年間）						
	単位	回	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	4	4	4	4	4
			実績値	3	4			

令和６年度実施計画	ホームページやしみんだより、Ｘに解説付きガイドツアー募集の記事を記載し、NPO法人なら・観光ボランティアガイドの会「朱雀」の案内で、史料保存館所蔵の古地図を活用した解説資料をもとに、史料保存館展示にゆかりの地を歩く見学会を行う。あわせて、同館職員の解説により、史料保存館の展示を見学してもらう。また参加者アンケートを基に今後の事業内容を検討する。

協働事業

No.	59	事業名	上深川歴史民俗資料館（指定管理）
部名	教育部	課名	文化財課

総合計画上の位置付け			
	章	第３章	くらしづくり（福祉、健康、地域活動、いきがい、文化）
	施策	３－８	文化遺産の保存と活用
	施策の方向性	②文化財の活用と啓発	

相手方の名称	奈良市上深川町自治会	協働事業の実施手法	指定管理	
実施の時期	通年	事業開始年度	昭和53年度	
令和６年度事業費	当初予算額 210	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	地域の文化財保存公開施設として適切に管理を行い、特に当該地域の特色ある文化財である重要無形民俗文化財「題目立」の保存公開に寄与する運営を行う。			

目標指標	指標名	重要無形民俗文化財「題目立」の合同練習及び公開等の日数						
	単位	日	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	28	28	28	28	28
			実績値	51	69			

令和６年度実施計画	「題目立」の合同練習、現地公開のために開館する。また見学希望者への公開のために随時開館する。そのほか施設維持管理、収蔵資料の保存等のために毎月定期的に点検、清掃、周辺美化等を行う。また諸事業及び管理にあたってはコロナ感染防止対策にも、状況に応じて必要な措置等を怠りなくとれるようにする。

協働事業

No.	60	事業名	自主防災防犯組織活動
部名	危機管理監	課名	危機管理課

総合計画上の位置付け			
	章	第４章	まちづくり（安全・安心、環境・衛生、都市基盤）
	施策	４－１	防災対策の充実
	施策の方向性	②防災・減災に対する意識の向上	

相手方の名称	自主防災防犯組織		協働事業の実施手法	補助・助成	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成18年度	
令和６年度事業費	当初予算額	16,380	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	各地区の防災防犯力の向上を図り、安全安心なまちづくりを推進するため、自主防災防犯組織が行う防災訓練、防犯活動等の各種防災防犯活動を支援する。この際、各地区の自主防災防犯組織の均一的な活性化に留意しつつ、自主防災防犯協議会と合同で防災訓練等を実施するとともに、防災士育成、資機材購入等の防災防犯活動に対して、活動交付金を交付し、自助・共助・公助連携の向上を図る。				

目標指標	指標名	各地区自治連合会等を基本とした自主防災防犯組織の結成率						
	単位	%	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100			

令和６年度実施計画	自主防災防犯組織に自主防災防犯組織活動交付金を交付し、防災訓練、研修会の支援を行う。また、自主防災防犯組織全体の防災防犯力のレベルアップと継続した取組が行われるよう、組織内の人材育成研修や新任役員研修を新たにするため、実施に向けた準備を進める。

協働事業

No.	61	事業名	独り暮らし高齢者世帯防火訪問
部名	消防局	課名	予防課

総合計画上の位置付け			
	章	第４章	まちづくり（安全・安心、環境・衛生、都市基盤）
	施策	４－２	消防・救急救助体制の充実
	施策の方向性	①消防活動体制の強化	

相手方の名称	奈良市女性防災クラブ		協働事業の実施手法	事業協力	
実施の時期	通年		事業開始年度	昭和46年度	
令和６年度事業費	当初予算額	10	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	火災時に死傷者の発生する割合の高い高齢者世帯に対する防火啓発により住宅火災の防止、被害の減少を図ることを目的とする。 そのために、70歳以上の独り暮らし高齢者世帯を対象に防火訪問を実施する。				

目標指標	指標名	女性防災クラブ員訪問件数（年間）						
	単位	件	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	4,100	4,200	4,300	4,400	4,500
			実績値	4,144	4,088			

令和６年度実施計画	各地区の女性防災クラブ員が、それぞれの地域の独り暮らし高齢者世帯を訪問し、防火チラシの配布等により火災予防を呼びかける。

協働事業

No.	62	事業名	自主防災防犯組織と消防団の連携強化
部名	消防局	課名	総務課

総合計画上の位置付け			
	章	第４章	まちづくり（安全・安心、環境・衛生、都市基盤）
	施策	４－２	消防・救急救助体制の充実
	施策の方向性	①消防活動体制の強化	

相手方の名称	奈良市自主防災防犯協議会		協働事業の実施手法	実行委員会・協議会	
実施の時期	通年		事業開始年度	令和5年度	
令和６年度事業費	当初予算額	0	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	自主防災防犯協議会と消防団は、互いが各地域の状況をよく知る地域防災の両輪であり、災害発生時にはお互いにできることを協力していくことにより、住民の避難誘導、負傷者の搬送、避難所運営等においてスムーズな活動が可能となり、地域防災力の強化・向上を図ることができる。 互いの活動内容を知り、確認を行うことで、更に強固な連携体制を構築し、地域住民への安全安心の提供に加えて、地域防災力のさらなる向上につなげることを目的とする。				

目標指標	指標名	訓練及び事前研修会の開催回数						
	単位	回	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	－	4	4		
			実績値	－	4			

令和６年度実施計画	今年度は、前年度のような予算措置を伴う大規模な訓練等は計画していないが、各地域における自主防災防犯協議会とその地域の消防団（分団や方面隊）でのコンパクトな訓練や研修をとおして前年度に築き上げた地盤の強化と、更なる連携強化を図ることを目的に各訓練を実施予定である。

協働事業

No.	63	事業名	応急手当普及啓発活動事業
部名	消防局	課名	救急課

総合計画上の位置付け			
	章	第４章	まちづくり（安全・安心、環境・衛生、都市基盤）
	施策	４－２	消防・救急救助体制の充実
	施策の方向性	②救急救助体制の充実	

相手方の名称	市内在住・在勤者		協働事業の実施手法	事業協力	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成６年度	
令和６年度事業費	当初予算額	654	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	応急手当講習会を受講してもらうことにより、応急手当の必要性を認識していただき、病院前救護の充実を図る。				

目標指標								
	指標名	年間の応急手当講習修了者数						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	800	800	800	800	800
			実績値	1,181	1,624			

令和６年度実施計画	近年多発する災害により市民の防災意識の向上がみられる事から、しみんだよりやホームページ、SNS等の広報媒体を積極的に活用して応急手当の普及啓発を継続する。市職員や教職員を対象に継続した普通救命講習を実施すると共に、ｅラーニングの導入を試みたように、更に受講しやすい環境作りを図る。

協働事業

No.	64	事業名	地域防犯活動推進事業
部名	危機管理監	課名	危機管理課

総合計画上の位置付け			
	章	第４章	まちづくり（安全・安心、環境・衛生、都市基盤）
	施策	４－３	防犯対策と消費者保護の推進
	施策の方向性	①防犯力の向上	

相手方の名称	生涯学習財団、自主防災防犯組織		協働事業の実施手法	事業協力	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成21年度	
令和６年度事業費	当初予算額	162	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	奈良市安全安心まちづくり基本計画に基づき、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、市民が自らの安全は自ら守り、地域の安全は地域で守るという自主防犯意識を高めるため、自治会や自主防災防犯組織などの団体を対象とした防犯教室を実施する。また、令和２年度から、生涯学習財団と協力し、公民館で防犯教室を開催している。				

目標指標	指標名	刑法犯認知件数（年間）						
	単位	件/千人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	4.4	4.3	4.2	4.1	4.0
			実績値	4.4	4.7			

令和６年度実施計画	奈良市安全安心まちづくり基本計画に基づき、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、市民が自らの安全は自ら守り、地域の安全は地域で守るという自主防犯意識を高めるため、市民や自主防犯組織などの団体を対象とした防犯教室を実施する。

協働事業

No.	65	事業名	奈良市地球温暖化対策地域協議会
部名	環境部	課名	環境政策課

総合計画上の位置付け			
	章	第４章	まちづくり（安全・安心、環境・衛生、都市基盤）
	施策	４－４	環境の保全
	施策の方向性	①環境保全による地域課題の解決	

相手方の名称	市民・NPO・事業者など	協働事業の実施手法	実行委員会・協議会	
実施の時期	通年	事業開始年度	平成21年度	
令和６年度事業費	当初予算額 628	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	市民（個人・団体）、NPO、事業者、学識経験者、行政などが対等な立場で和をもって協議を行い、パートナーシップにより地球温暖化対策等の活動を推進し、環境（エコロジー）も経済（エコノミー）も持続可能な社会を目指す。			

目標指標								
	指標名	環境行事実施回数（年間）						
	単位	回	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	20	22	24	27	30
			実績値	14	9			

令和６年度実施計画	温室効果ガス排出削減に向け、市民・市民団体・事業者等と協働し、市民への啓発活動や講演会・市民環境講座、会員同士の交流会や勉強会等を実施し、様々な分野で活動を展開する。

協働事業

No.	66	事業名	ＥＣＯキッズ！ならの子ども
部名	環境部・教育部	課名	環境政策課・学校教育課

総合計画上の位置付け			
	章	第４章	まちづくり（安全・安心、環境・衛生、都市基盤）
	施策	４－４	環境の保全
	施策の方向性	①環境保全による地域課題の解決	

相手方の名称	市民・市民団体等	協働事業の実施手法	事業協力	
実施の時期	通年	事業開始年度	平成25年度	
令和６年度事業費	当初予算額 1,056	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	次世代を担う子ども達に環境問題や省エネ・節電などライフスタイルに対する気づきを与え、環境保全を推進する人材を育成するため、市立全小学校3年生を対象に、地球温暖化防止や省エネなどの環境に関する出前授業を行う。			

目標指標	指標名	夏・冬休みに家庭で取り組むエコチャレンジを実施した割合						
	単位	%	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	100	100	100	100	100
			実績値	91	91			

令和６年度実施計画	感染症対策として令和３年度から取り入れたオンライン講座を選択メニューに残しつつ、原則対面の出前授業の実施期間拡充を図り、１学期からの授業開始を可能とした、より授業を受けやすい環境講座を実施する。

協働事業

No.	67	事業名	ごみ減量キャラバン
部名	環境部	課名	廃棄物対策課

総合計画上の位置付け			
	章	第４章	まちづくり（安全・安心、環境・衛生、都市基盤）
	施策	４－４	環境の保全
	施策の方向性	②ごみ減量化と適正処理の推進	

相手方の名称	ごみ懇談会等		協働事業の実施手法	事業協力	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成24年度	
令和６年度事業費	当初予算額	67	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	啓発活動により、より多くの市民に、廃棄物の課題を認識していただき、ごみの減量及び３Rの促進に取り組んでいただく。				

目標指標								
	指標名	キャラバンの参加者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	900	900	900	900	900
			実績値	1,115	1,087			

令和６年度実施計画	市民団体“ごみ懇談会”と連携しながら、公民館主催の連続講座のメニューの一つとして組み込んでもらったり、市内小学校での環境学習で、市民に向けたごみ分別・減量・食品ロスなどの啓発活動を実施する。

協働事業

No.	68	事業名	陶磁器製食器類リユース・リサイクル事業
部名	環境部	課名	廃棄物対策課

総合計画上の位置付け			
	章	第４章	まちづくり（安全・安心、環境・衛生、都市基盤）
	施策	４－４	環境の保全
	施策の方向性	②ごみ減量化と適正処理の推進	

相手方の名称	関西ワンディッシュエイド協会	協働事業の実施手法	委託		
実施の時期	通年	事業開始年度	平成27年度		
令和６年度事業費	当初予算額	1,099	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	定期回収拠点（コープおしくま、コープ七条、はぐくみセンター）や奈良市の主催イベント等にて、家庭で不用になった陶磁器製食器類を持ち込んでいただき回収するとともに、持ち帰りたい食器があれば配布する「もったいない陶器市」を開催する。本事業を通じて、ごみの２R（発生抑制、再使用）を促進し、ごみに対する意識の高揚を図る。				

目標指標								
	指標名	陶磁器製及びガラス製食器類の回収量（年間）						
	単位	ｋｇ	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	1,200	2,400	20,000	20,000	20,000
			実績値	1,855	20,006			

令和６年度実施計画	コロナ明けに伴う、食器類回収量の激増を考慮し、新たなイベント会場の開拓など、事業規模の拡大に応じたイベント内容を模索する。また、関西ワンディッシュエイド協会と連携し、回収した食器類のリユース率・リサイクル率の向上を図り、廃棄物の減量と資源循環の実現を目指す。

協働事業

No.	69	事業名	アダプトプログラム推進事業「さわやかクリーン奈良」
部名	市民部	課名	地域づくり推進課

総合計画上の位置付け			
	章	第４章	まちづくり（安全・安心、環境・衛生、都市基盤）
	施策	４－５	生活衛生・環境衛生の向上
	施策の方向性	①環境美化の推進	

相手方の名称	自治会・ボランティア団体・事業者等		協働事業の実施手法	事業協力	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成20年度	
令和６年度事業費	当初予算額	5,439	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	身近な道路、河川等の公共施設の美化活動を通して、市民の美化意識の向上、地域コミュニティの再生を促進することを目的に、市の管理する道路、河川等の美化を行う団体を募集し、その活動に対して、報奨金の支給、保険の適用、ごみの回収などの支援を行う。				

目標指標	指標名	アダプトプログラム団体活動回数（年間）						
	単位	回	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	3,426	3,462	3,498	3,534	3,570
			実績値	3,539	3,833			

令和６年度実施計画	ホームページやしみんだより、情報誌「りろぱ」を通して参加団体を募集し、市の支援として、報奨金10,000円、ごみの回収、90Lのごみ袋の提供、ボランティア活動保険への加入を行い、報奨金の交付を希望しない団体には、ごみ袋45L及び90Lの支給、ごみの回収、ボランティア活動保険への加入を行う。

協働事業

No.	70	事業名	人と動物がともに暮らせるまちづくり事業
部名	健康医療部	課名	保健衛生課

総合計画上の位置付け			
	章	第４章	まちづくり（安全・安心、環境・衛生、都市基盤）
	施策	４－５	生活衛生・環境衛生の向上
	施策の方向性	③動物愛護の推進	

相手方の名称	自治会		協働事業の実施手法	事業協力	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成15年度	
令和６年度事業費	当初予算額	46	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	自治会を通じて動物の適切な飼い方に関するポスターを配布し掲示していくことで、飼い主のマナー啓発に努める。				

目標指標	指標名	ポスター配布枚数（年間）						
	単位	枚	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	600	600	600	600	600
			実績値	400	246			

令和６年度実施計画	動物の飼い方やマナーについての苦情や相談を整理しながら、各自治会と連携し動物の適切な飼い方やマナーに関する啓発ポスターを配布していく。引き続き、人と動物が共に暮らせるまちづくりを推進する取り組みを各自治会と連携して構築していく。

協働事業

No.	71	事業名	奈良市自転車駐車場の運営
部名	環境部	課名	環境政策課

総合計画上の位置付け			
	章	第４章	まちづくり（安全・安心、環境・衛生、都市基盤）
	施策	４－７	交通基盤の整備と交通安全の確保
	施策の方向性	③交通安全対策の推進	

相手方の名称	中筋自転車駐車場:公益財団法人自転車駐車場整備センター	協働事業の実施手法	委託		
実施の時期	通年	事業開始年度	平成18年度（指定管理者制度導入年度）		
令和６年度事業費	当初予算額	45,210	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	市内の駅周辺における自転車等の駐車秩序を確立することにより、街の美観を維持するとともに、自転車利用者の駐車の利便性の向上を図る。				

目標指標								
	指標名	市営自転車駐車場（５施設）の収容可能台数						
	単位	台	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	3,360	3,360	3,360	3,360	3,360
			実績値	3,360	3,360			

令和６年度実施計画	令和６年５月より高の原自転車駐車場は市直営による運営となっている。一方、中筋自転車駐車場は公益財団法人自転車駐車場整備センターが一般競争入札により継続して運営することとなった。委託事業者と連絡調整を行いながら、施設のより良い運営に努める。

協働事業

No.	72	事業名	交通安全指導員会
部名	危機管理監	課名	危機管理課

総合計画上の位置付け			
	章	第４章	まちづくり（安全・安心、環境・衛生、都市基盤）
	施策	４－７	交通基盤の整備と交通安全の確保
	施策の方向性	③交通安全対策の推進	

相手方の名称	交通安全指導員会		協働事業の実施手法	補助・助成	
実施の時期	通年		事業開始年度	平成28年度	
令和６年度事業費	当初予算額	1,282	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	交通事故を防止するため、交通安全思想の啓発、正しい交通ルールの実践及び指導、交通環境の巡視などの活動を実施する。また、交通対策協議会の構成団体として交通安全運動各行事等に参加し啓発活動を行う。				

目標指標								
	指標名	人身事故発生件数（年間）						
	単位	件	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	842	832	822	812	802
			実績値	697	602			

令和６年度実施計画	迷惑駐車・違法駐車等防止の啓発活動や、各地域の実情に合わせた見守り巡回活動、交通安全に関する安全点検などの活動を、各地区において自治連合会会長から推薦された交通安全指導員で行う。

協働事業

No.	73	事業名	グリーンサポート制度の実施
部名	市民部	課名	地域づくり推進課

総合計画上の位置付け			
	章	第４章	まちづくり（安全・安心、環境・衛生、都市基盤）
	施策	４－８	住環境の向上
	施策の方向性	②公園・緑地の整備	

相手方の名称	自治会等地域の団体	協働事業の実施手法	事業協力	
実施の時期	通年	事業開始年度	平成20年度	
令和６年度事業費	当初予算額 16,151	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	市民が公園を快適かつ安全に利用できるようにするとともに、市民の自主的な活動の推進を図るため、市の公園の維持管理を行う団体を募集し、その活動に対して、報奨金の支給、保険の適用、ごみの回収などの支援を行う。			

目標指標								
	指標名	グリーンサポート制度による公園管理率（各年度４月１日時点）						
	単位	%	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	27.5	28.5	29.5	30.5	31.5
			実績値	27.1	28.2			

令和６年度実施計画	市の支援として、報奨金や道具代の支給、ごみの回収、90Lのごみ袋の提供、ボランティア活動保険への加入を行う。また、情報紙「りろぱ」の発行やしみんだより、ホームページに加え、SNSを活用した広報活動等により市民への周知に努め、団体数の増加を図る。

協働事業

No.	74	事業名	にぎわいのあるまちづくり事業
部名	総務部	課名	総務課保健所・教育総合センター管理室及びセンター内全課

総合計画上の位置付け			
	章	第５章	しくみづくり（協働、行財政運営）
	施策	５－１	市民参画と開かれた市政の推進
	施策の方向性	②協働によるまちづくりの推進	

相手方の名称	JR奈良駅西地区の自治会	協働事業の実施手法	実行委員会・協議会	
実施の時期	通年	事業開始年度	平成23年度	
令和６年度事業費	当初予算額 320	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	地域住民と市職員が協働して「にぎわいのあるまちづくり事業」を実施する。この事業は、市場やコンサート、セミナー等などの集客イベントを実施し多くの市民の方に、はぐくみセンターを知っていただき、有効利用していただくこと、地域の活性化を図ること、JR奈良駅西のまちづくりに寄与することを目的とする。			

目標指標								
	指標名	来館者数（年間）						
	単位	千人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	220	220	220	220	220
			実績値	126	153			

令和６年度実施計画	①JR奈良駅西まちづくり運営協議会（地域住民と職員）において、年間事業計画を策定する。 ②はぐくみセンターとして大宮まつりへ参加、歴史講座（年１回）、健康講座（年１回）の開催のほか、過去に実施した事業の復活（年１～２回） ③事業参加者へのアンケート調査を実施し、次年度の事業計画に反映させる。

協働事業

No.	75	事業名	都祁まちづくり協議会
部名	市民部	課名	都祁行政センター地域振興課

総合計画上の位置付け			
	章	第５章	しくみづくり（協働、行財政運営）
	施策	５－１	市民参画と開かれた市政の推進
	施策の方向性	②協働によるまちづくりの推進	

相手方の名称	地域住民（都祁まちづくり協議会）	協働事業の実施手法	補助・助成	
実施の時期	通年	事業開始年度	平成17年度	
令和６年度事業費	当初予算額 3,500	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	１．新市建設計画の進捗に関すること。 ２．住民意識の取りまとめに関すること。（アンケート調査） ３．地域間交流事業（農業体験交流事業） ４．地域振興事業(いきいきスポーツinつげ高原)			

目標指標	指標名	利用者数（年間）						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	500	600	700	800	900
			実績値	468	524			

令和６年度実施計画	１．新市建設計画の進捗に関すること。 ２．住民要望及び住民意識の取りまとめに関すること ３．地域間交流事業（農業体験交流事業） ４．地域振興事業(令和13年度開催予定の国民体育大会等を見据え、年齢層や地域層を意識したスポーツイベントを実施し、地域振興・地域発信に取り組む)

協働事業

No.	76	事業名	平城・相楽ニュータウンの活性化
部名	都市整備部	課名	都市計画課・都市政策課

総合計画上の位置付け			
	章	第５章	しくみづくり（協働、行財政運営）
	施策	５－１	市民参画と開かれた市政の推進
	施策の方向性	②協働によるまちづくりの推進	

相手方の名称	木津川市、精華町、UR都市機構西日本支社、関西文化学術研究都市センター㈱、（公財）関西文化学術研究都市推進機構	協働事業の実施手法	事業協力	
実施の時期	通年	事業開始年度	令和３年度	
令和６年度事業費	当初予算額 70,301	決算（見込）額		（単位：千円）

事業の概要・目的	奈良市、木津川市及び精華町の２府県３市町にまたがって位置し、令和４年にまちびらき50周年を迎えた「平城・相楽ニュータウン」において、将来にわたって良好な街として持続し、誰もが安心安全に暮らせる魅力あるまちを目指し、人口減少・高齢化への対応、新規住民を呼ぶ魅力化、住民・行政のニーズの反映を図るために作成した街の活性化ビジョンをきっかけに、まちの活性化に資する取組を協働により実施する。

目標指標	指標名	高の原にぎわいづくり実行委員会が実施したイベント数（年間）						
	単位	件（同実行委員会に対する都市計画課での後援承認件数）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	4	3	3	3	3
			実績値	4	3			

令和６年度実施計画	ニュータウンの玄関口である高の原駅前について、将来的な駅前エリアの一体的な管理運営のための仕組みの検討を行う。 また、木津川市、精華町、関西文化学術研究都市センター㈱は、高の原駅前広場再整備プロジェクトチームにも参画し、地域住民とともに基本設計等を検討する。 加えて、関西文化学術研究都市センター㈱は、将来イメージに近い空間や活動を地域住民が体験し考える社会実験の企画チームにも参画し、ともに企画・運営を行う。

協働事業

No.	77	事業名	奈良市みらい価値共創プロジェクト研究
部名	総合政策部	課名	総合政策課

総合計画上の位置付け			
	章	第５章	しくみづくり（協働、行財政運営）
	施策	５－１	市民参画と開かれた市政の推進
	施策の方向性	②協働によるまちづくりの推進	

相手方の名称	大和ハウス工業株式会社 事業構想大学院大学		協働事業の実施手法	委託	
実施の時期	年20回		事業開始年度	令和５年度	
令和６年度事業費	当初予算額	36,740	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	本市の経済の活性化及び2025年の大阪・関西万博を見据え、共創を通じて地域課題等を解決し、社会に新たな価値を創出する事業構想計画を策定できる人材を育成するプロジェクト研究を行う。 本事業は３か年にわたり実施する予定であり、大和ハウス工業株式会社から本市に寄附された企業版ふるさと納税を活用して、事業構想修士課程のカリキュラムを持つ専門機関である事業構想大学院大学とともに実施する。				

目標指標	指標名	奈良共創チームの人数						
	単位	人	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	－	120	240	360	360
			実績値	－	141			

令和６年度実施計画	事業が円滑に進むよう委託先である事業構想大学院大学と調整しながら進めていく。また、昨年度の本プロジェクト研究の修了生や、ワークショップ参加者（研究員の所属企業・団体・官公庁等の社員・職員等、地元企業、地域住民、学生等をはじめとする様々な主体が参加）を中心に「奈良共創チーム」を組織する。２年目となるので、参加メンバーを増やすことで研究員同士の共創による新事業の創出や、新たなイノベーションが起こるきっかけづくりにも注力する。

協働事業

No.	78	事業名	産地学官連携プラットフォームの運営支援
部名	総合政策部	課名	総合政策課

総合計画上の位置付け			
	章	第５章	しくみづくり（協働、行財政運営）
	施策	５－１	市民参画と開かれた市政の推進
	施策の方向性	②協働によるまちづくりの推進	

相手方の名称	奈良国立大学機構	協働事業の実施手法	補助・助成	
実施の時期	通年	事業開始年度	令和５年度	
令和６年度事業費	当初予算額 5,000	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	奈良県内の産業界、地方公共団体、高等教育機関等が連携・協働して、恒常的な対話の場を設置するとともに、イノベーション推進による新産業やサービス創出等、新たな価値を創造し、その成果を社会実装することにより、地域の課題解決や活性化、産業振興を図る。			

目標指標	指標名	参画団体数						
	単位	団体	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	－	－	39	調整中	調整中
			実績値	－	19			

令和６年度実施計画	本プラットフォームが目標とする課題解決や新産業創出をともに取り組んでいくため、事務局を担う奈良国立大学機構と定期的に意見交換を行い、運営に対する支援を行う。 また、タスクフォース立上げのために、市の課題を共有する等、本プラットフォームの会員団体との連携にも取り組む。

協働事業

No.	79	事業名	「奈良しみんだより」の英訳
部名	総合政策部	課名	秘書広報課

総合計画上の位置付け			
	章	第５章	しくみづくり（協働、行財政運営）
	施策	５－１	市民参画と開かれた市政の推進
	施策の方向性	③市政情報の積極的な発信と戦略的な広報の推進	

相手方の名称	奈良S・G・Gクラブ		協働事業の実施手法	事業協力	
実施の時期	毎月		事業開始年度	平成26年度	
令和６年度事業費	当初予算額	120	決算(見込)額		（単位：千円）
事業の概要・目的	日本語が分からない外国籍市民等に市政情報をお知らせする。				

目標指標	指標名	設置部数						
	単位	部／月	年度	R4	R5	R6	R7	R8
			目標値	200	200	200	200	200
			実績値	200	240			

令和６年度実施計画	・行政は「奈良しみんだより」の掲載情報・資料を提供する。印刷については、活動団体の状況を鑑みて、秘書広報課分室に設置のコピー機を、毎月３時間程度貸与する（印刷用紙も支給）。完成した英語版しみんだよりのPDFを市ホームページに掲載する。 ・活動団体は「奈良しみんだより」の英訳、英語版の印刷・編綴・各施設への配置、市へのPDFの提供を行う。